

第 13 章 駒林遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

駒林遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の右岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地し、標高 12～15m 前後の平坦地を形成する。もともと遺跡の範囲は南北 300m、東西 800m の範囲であったが、2002 年から 2004 年に行った駒林土地区画整理事業に伴う試掘調査の結果、大溝を検出した南北 160m、東西 80m の範囲に遺跡を縮小し、さらに地下式坑を検出した周辺を駒林新田前遺跡として独立させ、新たな包蔵地として 2004 年 3 月に追加した。しかし、第 3 地点で検出した溝と過去の試掘調査で検出した溝の配置を再検討した結果、一辺 140～160m の台形区画に溝が巡る事が明らかとなり、2008 年 2 月に再び遺跡範囲の変更増補を行い、北側の葺石と板碑を検出した駒林中世墳墓と東側の地下式坑を検出した駒林新田前

遺跡を統合した。区画整理後は開発が進み、宅地と商業地に変貌を遂げ部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、500m 下流に福岡新田遺跡、南側にも地下式坑を検出した富士見市の稲荷久保北遺跡がある。2002 年以降の試掘調査の結果、幅 5m、深さ 2m の大溝や茶毘跡、縄文時代の集石土坑等を検出する。

II 駒林遺跡第 23 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2012 年 3 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2012 年 4 月 10 日から 16 日まで、幅



第 42 図 駒林遺跡の地形と調査区 (1/5,000)



第43図 駒林遺跡遺構分布図 (1/2,000)

約1m及び2mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、古代から中世の大溝1条と時期不明の溝2条及びピット2基を確認した。遺物は出土していない。

地表面から遺構確認面までの深さは約65cmであるが、30cmの保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【ピット】詳細については、第35表のとおりである。

【溝1】調査区中央に東西方向の溝を8m検出した。

西側の7地点や東側の12地点で検出した大溝に連なるとわれ、遺跡全体では一辺140～160mの台形区画に巡る溝に連なるとされる。

【溝2】調査区北側に東西方向の溝を8m検出した。溝1・溝3と平行し、東側の12地点で検出した溝に連なるとされる。

【溝3】調査区北側に東西方向の溝を8m検出した。溝1・溝2と平行し、東側の12地点で検出した溝に連なるとされる。

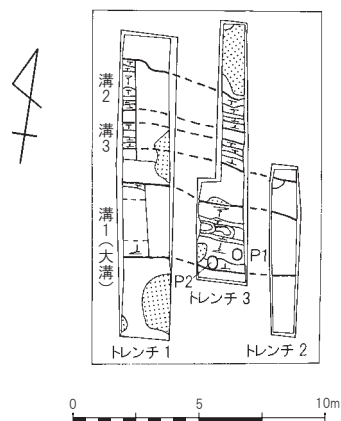
第35表 駒林遺跡第23地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	方形	38×34	15×9	71.2	
P2	楕円形	56×32	20×17	73.1	

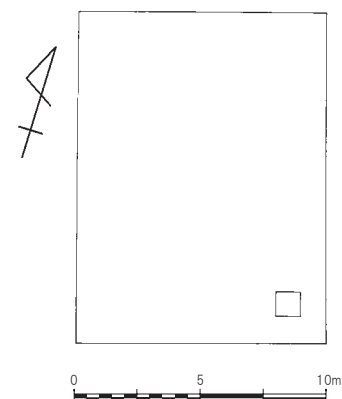
第34表 駒林遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	駒林土地区画整理事業地内20街区4, 8, 9	2006.7.13～28	646	共同住宅	堀跡、茶毘跡検出	市内3
2	駒林土地区画整理事業地内17街区7, 8の一部	2006.11.21～29	421	専用住宅	堀跡検出	市内3
3	駒林土地区画整理事業地内21街区3, 4の一部	2006.11.30～12.18	1,916	店舗	近世遺構建設	市内3
4	駒林B地区7街区3, 4	2007.6.11～13	1,866	共同住宅	縄文：土坑1	市内4
5	大字駒林字新田前256(仮換地指定30街区2)	(2008.4.9～16) 2008.5.30～6.28	509	分譲住宅	縄文：集石3、中近世：地下式坑1、堅穴状遺構25、溝4、櫛列、ピット	市内5、6
6	大字駒林字新田前248-2(仮換地1街区27符号1)	(2008.8.27)	257	個人住宅	遺構・遺物無し	市内6
7	駒林土地区画整理事業地内28街区5画地	(2009.2.3) 2009.2.4,5	152	個人住宅	時期不詳の堀・溝跡2	市内6
8	大字駒林字新田前245-5	(2009.6.8)	132	個人住宅	遺構遺物無し	市内8
9	大字駒林字新田前284	(2009.7.22～30) 2009.7.30～8.5	892	共同住宅	縄文：集石土坑1、土坑2、ピット9、溝1	市内8
10	大字駒林字新田前288-1の一部	(2010.2.17,18)	400	個人住宅	遺構遺物無し	市内8
11	駒林区画整理事業27街区2, 10画地, 11画地の一部	(2010.4.12～21)	689	個人住宅	遺構遺物無し	市内10
12	駒林字新田前258-2(28街区12画地)	(2010.7.14)	115	個人住宅	中世～近世：溝確認	市内10
13	新駒林3-722-1, 3, 4	(2010.7.27～29)	927	共同住宅	近世の土坑2、ピット11	市内10
14	駒林字新田前285～287、288-2, 3(22街区内)	(2010.9.1～8)	2,000	公園工事	遺構遺物無し	市内10
15	大字駒林字新田前266-3(24街区12符号)	(2011.2.16,17) 2011.2.17	115	個人住宅	時期不詳の土坑1	市内10
16	新駒林3-706	(2011.5.2～25) 2011.5.25～6.1	1,454	分譲住宅	堀、溝1、井戸2、土坑2、ピット4、縄文土器片、近世陶磁器	市内14
17	新駒林3-707	(2011.5.16～19)	495	分譲住宅		
18	駒林234-2、238-2(仮換地)、31-4、31-4-5	(2011.4.28～5.2) 2011.8.25～31	238	個人住宅	土坑2、近世陶磁器類破片	市内14
19	新駒林2-305-1	(2011.11.28～12.5) 2011.12.12	671	分譲住宅	中・近世の溝1、縄文土器	市内14
20	駒林元町1-3-13	(2012.3.5～8)	179	共同住宅	土坑1	市内14
21	駒林元町1-3-13の一部	(2012.3.5～8)	110	個人住宅	ピット6、倒木痕1	市内14
22	駒林元町1-3-20	(2012.3.5～8)	118	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
23	駒林元町一丁目4番12	(2012.4.10～16)	127	専用住宅	ピット2、溝3(うち1は掘状)、遺物なし	市内15
24	駒林元町二丁目1-7	(2012.5.16)	127	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
25	駒林元町一丁目2番7	(2012.6.4)	212	個人住宅	遺構なし、土器	市内15
26	駒林元町一丁目5番16	(2012.8.29・30)	136	個人住宅	ピット6、溝1、遺物なし	市内15
27	駒林元町1-5-9・10	(2012.12.21)	133	個人住宅	時期不明土坑1、遺物なし	市内15
28	駒林元町1-3-8・14～16	(2013.2.21～25) 2013.5.21～27	1,208	宅地造成	中近世以降堀跡、溝1、磁器片、須恵器、陶器	市内14
29	新駒林2-231-1	(2013.6.3～17)	2,200	店舗	溝3、近世陶磁器	未報告
30	駒林元町1-3-7	(2013.6.19・20)	68	個人住宅	近世以降ピット3、陶磁器	未報告
31	駒林元町1-5-5・6	(2013.9.17～27)	925	宅地造成	溝1	未報告
32	駒林元町2-1-16	(2014.2.10)	132	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

23 地点



24 地点



第44図 駒林遺跡第23地点遺構配置図・24地点調査区域図(1/300)

第36表 駒林遺跡第23地点溝一覧表 (単位 cm)

No.	断面形態	上幅	下幅	深さ	備考
溝1	V字(葉研堀)	255~267	45~49	120.8	
溝2	U字	126~138	12~18	46.6	
溝3	浅いV字	94~147	18~32	37.4	

III 駒林遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2012年2月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡東部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2012年5月16日に人力により1m四方のグリットを1ヶ所設定した。試掘調査の結果、遺構・遺物が確認できなかったため、慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは50~75cmである。旧石器時代の確認調査は行っていない。

IV 駒林遺跡第25地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2012年5月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡東端部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2012年6月4日、幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、遺構は確認できなかったため、慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約30cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【出土遺物】(第46図1)

1は遺構外出土の縄文土器。口縁部で、外面に断面が三角形の低い隆帯を貼付する。内面は磨きを施す。

V 駒林遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2012年7月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2012年8月29・30日、幅約1.5mのトレンチ3本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行った。試掘調査の結果、ピット6基と古代から中世の大溝1条を確認した。

他に遺構・遺物は確認できなかったため地表面から遺構確認面までの深さは約60cmであるが、溝は調査区の北端で駐車場部分に当たり、30cmの保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【ピット】溝中にピットを6基確認した。詳細については、第37表参照。

【大溝】調査区中央に東西方向の溝を12m検出した。遺跡全体で一辺140~160mの台形区画に巡る溝に連なると思われる。溝の南側縁にはピット列が連なって検出された。

第37表 駒林遺跡第26地点ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
P1	不明	25×(11)	8×(4)	26.4	
P2	方形	30×28	11×7	55.7	
P3	方形	30×30	10×9	60.5	
P4	不明	(21)×19	6×4	22.8	
P5	方形	25×25	17×13	41.5	
P6	楕円形	57×40	31×20	45.3	

VI 駒林遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2012年12月14日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡南端部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

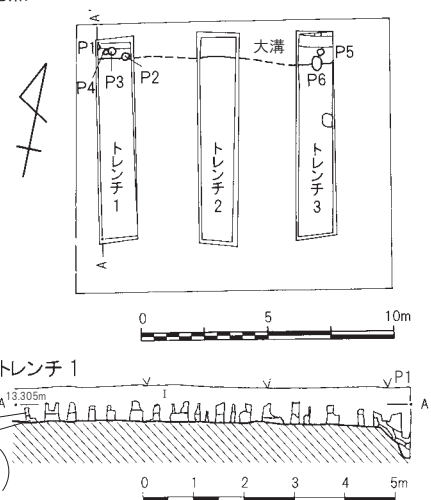
試掘調査は2012年12月21日、幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。試掘調査の結果、時期不明の土坑を確認した。

他に遺構・遺物は確認できなかったため慎重工事の措置とした。地表面から遺構確認面までの深さは約60cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

【土坑1】土坑は確認面126cm、底幅80cm、深さ72cmを測る。

26 地点



トレンチ 1

12.664m

コンクリート升

1b

1a

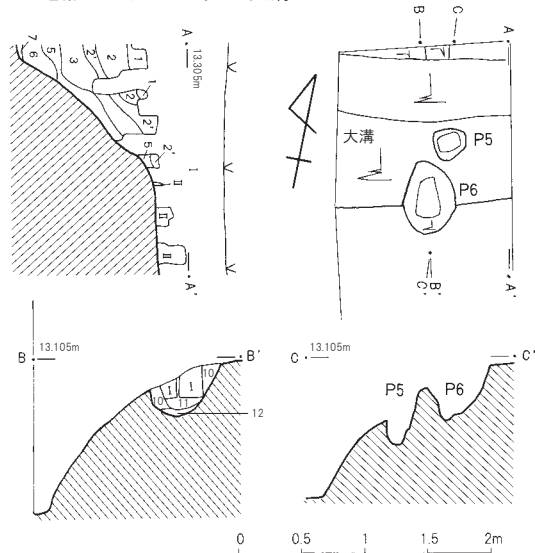
1c

1d

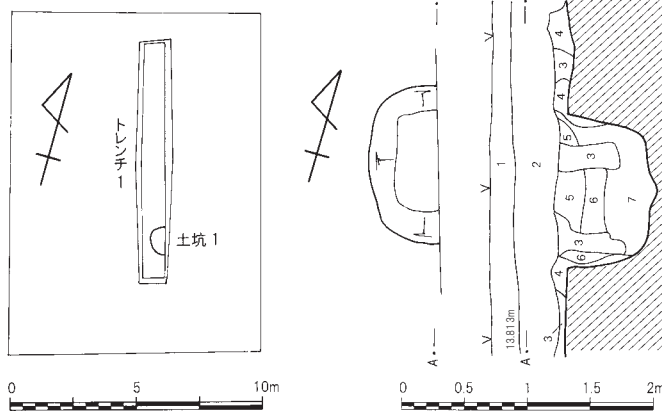
0 1 2 3 4 5m

- I a. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロック均一に、5～30mm 灰色粘土やや多く含む
I b. 黒褐色土 締り強、粘性有、シミ状に1cm 以下ロームブロック・粒・5mm 以下焼土やや多く含む
I c. 暗褐色土 締り強、粘性有、転圧を受ける。黒褐色土ベースにローム土主体（マープリ状）
I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、転圧を受けている、5mm 以下ローム粒・焼土やや多く含む
①褐色土 締り強、粘性有、シミ状にローム土やや多く、白色土粒少し含む
②黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む

26 地点トレンチ 3・ピット・大溝

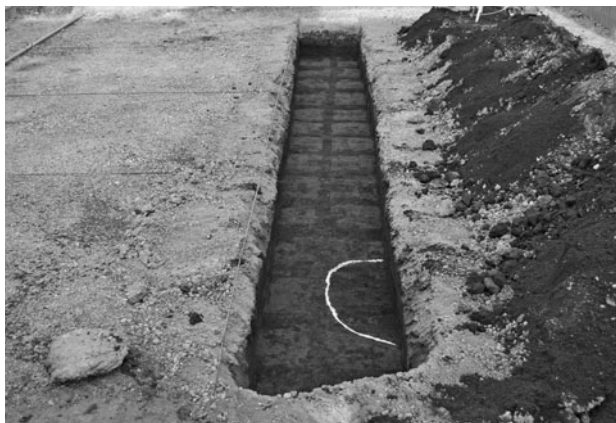


土坑 1



1. 砂利
2. 表土 暗褐色土 硬く締る、3mm 以下ローム粒多く含む
3. トレンチヤー 黒色土 締りやや弱
4. ソフトローム 地山
5. 暗褐色土 硬く締る、1mm ローム粒極少し含む
6. 褐色土 硬く締る、ローム混入
7. 褐色土 硬く締る、ソフトローム塊が斑状に入る

- Ⅰ. 黒褐色土 締り有、粘性有、耕作土、5mm 以下ローム粒少し含む
- Ⅱ. 暗褐色土
- Ⅲ. 黄褐色ローム土
1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2mm 以下ローム粒・赤色土粒僅かに含む
2. 黒褐色土 締り有、粘性有、3mm 以下ローム粒少し含む
- 2'. 黒褐色土 締り有、粘性有、2 層より 1mm 以下ローム粒やや多く、色調明るめ
3. 黒褐色土 締り有、粘性有、上部に 15mm 以下ロームブロック・全体に 5mm 以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、色調黒褐色味が有る、2mm 以下ローム粒少し含む
5. 暗褐色土 締り有、粘性有、シミ状に 2cm 以下ロームブロックやや多く、3mm 以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、2cm 以下ソフト質のロームブロック・粒やや多く含む
7. 黄褐色土 締り有、粘性有、ローム土主体
8. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1cm 以下ロームブロック・粒少し含む
9. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ローム土やや多く含む
10. 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、3mm 以下ローム粒やや多く含む
11. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、色調暗褐色味が有る、シミ状に 3mm 以下ローム粒少し含む
12. 黄褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ソフト質ローム土主体



駒林遺跡第 27 地点



駒林遺跡第 27 地点土坑 1